

郷土資料館 ふるさと講座・自然系第1回目の様子

アカアシシギ観察会

と き 令和8年5月17日(日)
午前9時30分～12時30分

と ころ 野付半島

講 師 NPO法人野付・エコ・ネットワーク
代表 藤井薫 氏

参加者数 7名



ネイチャーセンターで講師よりレクチャーを受けました。この時期の野付半島は、ロシアやアラスカに渡るシギ・チドリの中継点として重要な場所であり、繁殖のため6月の第1週までに到着しなければならないため、餌を食べ体力をつけています。

今年度の状況は、5月の2週目がピークで3,500羽記録され、今日は、1,500～2,000羽はいるとのこと。春は夏羽が見れるのが特徴だそうです。

レクチャーの後、車で移動しながら観察しました。



●観察したシギ・チドリ

オオジシギ、タカブシギ、トウネン、シロチドリ、キョウジョシギ、ハマシギ、キアジシギ、アオアシシギ、ダイゼン、メダイチドリ、

●その他観察の鳥

タンチョウ、コガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、キンクロハジロ、シマアジ、ハシビロガモ、オジロワシ、スズガモ、ヒバリ、アビ、ウトウ、コクガン、ビロードキンクロ、アカエリカイツブリ、オオジュリン、カワラヒワ、ハクセキレイ、クロガモ、オナガガモ、タヒバリ、アオサギ、トビ、ハシブトガラス

●参加者の主な感想

・予想以上に多くの種類が見られて感激しました。渡りのルートについても参考になりました。春夏秋冬開催していただきたいです。

・シギチだけではなく、アビなどの海鳥、コクガンも見れ満足です。定期的に観察をしに来たいと思いました。ありがとうございました。

